

しんりんかんだより

年主題 「ともに」

月主題

1,2,3 歳児 おもしろそう

4,5 歳児 気持ちいい

‘25 第6号 (vol.102)

2025年9月1日発行



8/12(火)～15(金)の4日間、山梨県北杜市の「特定非営利活動法人あさひ」へ行って参りました。あさひは、障がい者の自立の場を提供すべく、多くの作業員さんが働いておりますが、お盆時期は作業員さんが帰省するため、毎年お盆時期にお伺いし、鶏の世話、薪運び、畑仕事等をお手伝いしております。

私が初めてあさひに行った2011(平成23)年から数年間は、バケツに水を汲んで全ての鶏小屋へ水を運んでおりました。今は鶏小屋に配水管が通り、蛇口をひねれば水が出てくるので、水を運ぶ必要がなくなりました。鶏小屋以外にも設備が整備され、以前よりも作業内容がグンと楽になりました。

でもそうはいっても、薪を切ったり、重いものを運んだり、高齢化が進む作業員さんたちには厳しい作業は残っております。あとは、こここのところの猛暑で畑仕事が早朝しかできず、でも早朝に集まれる作業員さんが少なくて困っているそうです。

設備が整備されて作業が軽減されても、人力でやる仕事はたくさんあるので、もっとお手伝いをしたいのですが、私どもも、共催している本所賀川記念館学童の子どもたちを連れて来ているので、あまり危険な作業はさせられない…。何とも中途半端な働きで、申し訳ないと思いながら作業しておりました。

しかしそれでも、あさひのスタッフに「年1回と言わずもっとたくさん来てくださいよ!」とおっしゃっていただき、本当にありがたかったです。

これは実現するかわかりませんが、夏は今まで通り子どもたちにワークと自然体験をさせて、冬は大人だけで本当にワークだけに徹するキャンプができれば、もっとあさひの役に立てるのかなと思いました。これからも、キリスト教の奉仕の精神に則って、あさひには行きたいと思っています。

(園長 田中 智和)